



令和6年度当初予算(案)

主要事業の概要

令和6年2月
磐田市

	取組名	ページ
働く場所・雇用の「共創」	オフィスの立地に対する支援	1
	UIJターンの促進	1
	中小企業のDX・脱炭素投資への支援	2
	創業希望者の継続的な支援と起業家教育の促進	2
	新たな特産物産地形成への支援	3
	学校給食における地産地消の推進	3
住みたく なる・集 まりたく なるまち に向けた 「共創」	障がい者等の就労支援	4
	不妊治療費助成の拡充	4
	こどもの居場所に係る支援制度の創設	5
	豪雨災害に伴う道路冠水への対応	5
	海岸堤防の整備推進	6
	ジュピロ磐田と連携した移住体験ツアー	6
	若者、子育て世帯の移住定住を支援	7
	「磐田ここからラボ」の推進	7
新たな地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」の実施	8	
新たな価値・魅力の「共創」	スポーツ施設再編整備に係る調査検討	8
	スポーツプラットフォームの研究	9
	文化芸術活動スペースの整備	9
	家康ゆかりの歴史的資源の活用	10
	「(仮称)磐田おんぼく」の実施	10
地域おこし協力隊を活用した動画コンテンツ等による魅力発信	11	
子どもたちの安心	子育て世帯等に対する家事支援事業の開始	11
	子育て短期支援事業(ショートステイ)の拡充	12
	病児保育の拡充	12
	第3の教育支援センターの設置	13
	学校の諸問題に対する支援体制の拡充	13
	探究的な学びデジタルコンテンツの導入	14
	向陽学府小中一体校の整備推進	14

	取組名	ページ
暮らしと健康の安心	フレイルの改善を目指した取組	15
	救急情報シート利用促進	15
	障がい者の緊急時支援の充実	16
	ヘルスケアアプリ「たのしっぺい!シン・健幸チャレンジ」	16
	磐田市立総合病院に(仮称)内視鏡センターを新設	17
	磐田市立総合病院にソーラーカーポートを設置	17
まちづくりと防災への安心	路線バスキャッシュレス決済導入の補助	18
	豊岡支所庁舎の整備	18
	神増地区における治山工事	19
	大規模盛土造成地の安全性把握調査の実施	19
	災害用備蓄食料等の整備推進	20
	中東遠消防指令センター高機能消防指令システムの更新	20
	消防庁舎の整備推進	21
機能別消防団員制度の導入	21	
省エネ家電買替促進キャンペーンの実施	22	
未来と仕事の安心	企業立地に対する支援	22
	沿岸部の産業用地開発可能性基本調査	23
	フィリピン(ダグバン市)・タイとの交流事業	23
	遠江国分寺跡の整備	24
安心できる市役所づくり	「書かない・行かない」窓口の本格運用	24
	生成AIツールの導入	25
	基幹業務システムの標準化	25
	デジタルデバйд対策の推進	26
	職員育成施策の更なる推進	26
	市公式ホームページのリニューアル	27
ファシリテーターの養成・活動支援	27	

※資料内の所管課は令和5年度の名称です

継続	オフィスの立地に対する支援	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	102,500	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
07-01-01	オフィス立地推進事業	産業・雇用・観光・移住定住	産業政策課	37-4904

<目的>

若者や女性が活躍できる街にするため、情報通信業などの第3次産業に着目し、地元雇用の創出、従業員の移住、地元企業との連携など地域の活性を図る。

<内容>

【概要】

●オフィス立地推進事業費補助金

内 容:新設したオフィスの用地・建物取得費、建物改修費、備品等取得費及び新規雇用者に要する経費

補助率:経費の1/2、新規雇用一人当たり20万円
(上限1,000万円、大規模特例の場合は上限1億円)

財 源:一般財源



磐田市オフィス立地推進事業費補助金

磐田市では製造業、農水産業に続く第3の産業の柱の創出を目指し、事務職系の産業である第3次産業に着目し、オフィスを設置する企業に対して、初期費用の支援を新たに始めます。

継続	UIJターンの促進	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	30,882	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
05-01-01	地域雇用支援事業	産業・雇用・観光・移住定住	経済観光課	37-4819

<目的>

人材不足が深刻化する市内企業の雇用確保と安定雇用を図ることを目的に、新卒者や一般求職者を対象に商工団体等と連携して支援を行い、UIJターン就職・地元定着促進及び定住人口の増加に繋げる。

α

【概要】

○UIJターン就職・地元定着促進事業(委託料:12,141千円)

- ・就職面接会や転職・再就職フェア、静岡県内外での学内ガイダンス等を近隣市などとの共創による広域的な開催を含めて実施
- ・就活情報専用サイトや就活ラインを活用した情報発信

☆財源:地域づくり推進事業助成金(2,000千円)

補助率:対象事業費の10/10

○Uターン促進奨学金返済支援補助金(11,050千円)

- ・Uターン就職した対象の方に対し、大学等在学中に借り入れた奨学金の返済の一部について補助金を交付。

補助額:年間最大12万円 対象期間:最大5年間

☆財源:ふじのくに新・少子化突破展開事業費補助金(5,604千円)

補助率:対象事業費の1/2以内



磐田市
磐田市UIJターン就職・地元定着促進事業



新規	中小企業のDX・脱炭素投資への支援	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	15,000	●

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
07-01-01	中小企業支援事業	産業・雇用・観光・移住定住	産業政策課	37-4904

<目的>
 ・デジタル技術を導入して事業を変革し、生産性の向上に取り組む事業者を支援する。
 ・地域金融機関等との共創により、産業分野におけるカーボンニュートラルの実現を促進する。

<内容>
 ・「DX促進事業費補助金」の創設(補助金:5,000千円)
 生産性向上等のためデジタル技術を活用する事業者の導入費用を補助する。
対象者 市内中小企業等
補助対象事業 労働生産性を向上させるデジタル技術の導入に係る事業
補助率 1/2(上限500千円)
 【財源】国10/10
 ・「脱炭素投資促進事業費補助金」の創設(補助金:10,000千円)
 自社のCO2排出量を把握し削減計画に取り組む事業者に対し、関連融資の借入にかかる費用を補助する。
対象者 市内中小企業等
補助対象事業 脱炭素関連融資の借入にかかる手数料等
補助率 1/2(上限500千円)
 【財源】国10/10



継続	創業希望者の継続的な支援と起業家教育の促進	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	606	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
05-01-01 05-01-02 07-01-01	創業支援事業 勤労者総合福祉センター施設管理事業 中小企業支援事業	産業・雇用・観光・移住定住	経済観光課 産業政策課	37-4819 37-4904

<目的>
 創業からその後まで、創業者への継続的な支援を行い、開業率の向上、地域の活性化、雇用の確保を目指す。また、子どもたちに対して地域金融機関や商工団体、事業者との共創により起業体験を創出し、将来の起業家育成を行う。

<内容>
【概要】
 ○創業支援事業(216千円)、勤労者総合福祉センター施設管理事業
 ・ワークピア磐田内に設置したコワーキングスペース「はじまりのオフィス」「はじまりキッチン」「はじまりBOX」等の施設や、商工団体・金融機関等で構成する創業支援ネットワーク「チャレンジサポーター磐田」を活用して創業者への支援を実施。
 ・指定管理者(ワークピア磐田)の自主事業により、子どもたちが起業体験を行う。
 ☆財源:一般財源
 ○中小企業支援事業
 (開業パワーアップ支援貸付資金利子補給金:390千円)
 ・開業資金に対する借入への利子補給
 借入限度額:3,500万円 利子補給期間:1年 利子補給率:1.5%
 ☆財源:一般財源



新規	新たな特産物産地形成への支援	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	10,500	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
06-01-03	特産農作物振興対策事業	産業・雇用・観光・移住定住	農林水産課	37-4813

<目的>
 新たな農産物の産地化に取り組むことにより、農業者の所得向上や経営の安定化、農地の荒廃未然防止を図る。

<内容>
【概要】
 新たな産地化を目指すレモンを栽培する圃場整備等に対する補助
 対象面積：10a以上

①障害物等除去費用補助 7,500千円
 ・対象経費：整地、既存作物の伐根、土壌改良等
 ・補助率：2/3
 ・上 限：500千円

②未収益期間資材経費補助（肥料代、農薬代等） 3,000千円
 ・補助額：50千円/10a
 ・上 限：150千円
 ※未収益期間3年間の交付（年度ごと）

【財源】 国庫10/10



新規	学校給食における地産地消の推進	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	3,002	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
06-01-03	地産地消推進事業	産業・雇用・観光・移住定住	農林水産課	37-4813

<目的>
 磐田市特産の農作物を学校給食に使用することで、児童・生徒の郷土愛の向上・育成を図るとともに、地域内経済循環や将来的な農産物の生産拡大に繋げる。

<内容>
【概要】
 特産農作物を毎月1回、集荷拠点から学校給食センター等調理場全19か所へ配送する（委託料：3,002千円）

【実施時期等】 令和6年12月から
 12月 海老芋
 1月 根深葱
 2月 キャベツ
 3月 タアサイ

【財源】 一般財源



継続	障がい者等の就労支援	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	122	
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
03-01-02	障害者施策推進事業	福祉・健康	福祉課	37-4919

<目的>

就労を希望している障がい者等との面談を通じ、特性等の情報をカルテにまとめ、支援機関や就労先に提供することで、本人の特性に沿った職業選択や就労の定着を支援

<内容>

【概要】

就労相談を通じ、悩み事の共有・解決を行うとともに、必要に応じて就労支援カルテを作成し、支援機関や就労者先等へ情報共有を図るなど、より一層の就労支援を行う。
また、就労を希望する障がい者に対し、職業適性等を評価するツールを活用し、客観的に自身を把握する機会を創出する。

【ツール】

- ・GATB(厚生労働省編一般職業適性検査) 多様な職業分野で必要とされる9種の能力を、15種類の検査から測定
- ・VRT(職業レディネス・テスト) 自分がどんな職業分野に興味を持ち、どの職業分野なら仕事をする自信があるかなどを測定
- ・CI(キャリア・インサイト) 利用者自身がコンピュータを使いながら、職業選択に役立つ適性評価、適性に応じた職業リストの参照、職業情報の検索、キャリアプランニングなどを実施
- ・TEG3(東大式エゴグラム) 5つの自我状態のバランスから、性格特性と行動パターンを測定
- ・OSI(職業ストレス検査) 定期的に労働者のストレスの状況について測定

【財源】 一般財源



職業適性等評価ツール



拡充	不妊治療費助成の拡充	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		子どもたちの安心	20,224	
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
04-01-05	妊活サポート事業	子育て・教育	こども未来課	37-2012

<目的>

不妊治療における経済的な不安を和らげ、少しでも早く治療に踏み出す後押しをするため、不妊治療費助成を拡充する。

<内容>

【概要】

先進医療分の治療費に加え、保険適用の一般不妊治療及び生殖補助医療の自己負担分も対象として助成し、早期治療に向けた環境を整える

<助成額>

- ・保険適用治療のみ: 1回の申請につき、上限8万円
- ・保険適用治療と先進医療(保険適用外)を併用する場合: 1回の申請につき、上限18万円

<助成回数>

- ・40歳未満の場合、43歳になるまで1子ごとに6回
- ・40歳以上の場合、43歳になるまで1子ごとに3回
- ※第1子生まれた場合の回数・金額の再設定(リセット)あり

【主な事業費】 不妊治療費助成金 20,224千円

【開始時期】 令和6年4月から

【財源】 一般財源

<助成金拡充のイメージ>

区分	保険適用となる治療		保険適用外の治療
	一般不妊治療(人工授精) ・生殖補助医療(体外受精/顕微授精/男性不妊治療)	①3割分/自己負担	②全額/自己負担
患者負担	7割分/無料	①3割分/自己負担	②全額/自己負担
R5助成	-	なし	上限10万円
補助枠の拡大			
新規助成	-	(1) ①のみ …最大 8万円をサポート! (2) ①+② …最大18万円をサポート!	

新規	こどもの居場所に係る支援制度の創設	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		子どもたちの安心	1,000	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
03-02-01	児童福祉事務	子育て・教育	こども未来課	37-4896

<目的>
 こどもたちが地域における人との繋がりを通じて健やかに成長する環境を充実させるため、こどもの居場所づくり活動を行う市民活動団体を支援する。

<内容>
【概要】
 磐田市内において、こどもの居場所(食事提供又は学習支援)の新規立上又は設備等の拡充をしようとする市民活動団体に対して補助金を交付する。
 <補助対象経費>
 ・建物の改修に係る経費
 ・食事提供や学習支援に利用する消耗品費
 ・食事提供や学習支援に利用する備品の使用料及び賃借料
 ・そのほか新規立上等に必要な経費
【主な事業費】
 こどもの居場所補助金 1,000千円
【実施時期】 令和6年4月から
【財源】 一般財源



継続	豪雨災害に伴う道路冠水への対応	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		まちづくりと防災への安心	28,245	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
08-02-01	道路橋りょう管理事業	防災・消防・安全安心	道路河川課	37-4808

<目的>
 ①冠水検知装置を設置し、迅速な災害対応や地域への情報発信を行う。
 ②冠水したアンダーパスの通行規制を、エアバルーン遮断機で行い、道路利用者の安全確保を図る。

<内容>
 ①
【概要】 センサーが冠水を検知すると、冠水情報を無線通信で情報伝達するとともに、警告灯(緑色→赤色)で走行車両に知らせる機器を設置する。
【設置場所】 市道富士見台中泉幹線歩道部
【実施時期】 令和6年4月～令和7年3月(予定)
【財源】 なし(一般財源)
 ②
【概要】 冠水を検知すると、自動で安全性・耐久性の高いバルーンが伸縮し、迅速に通行止めを行い、道路利用者の安全確保ができる。
【設置場所】 前野アンダーパスの前後(前野地内)
【実施時期】 令和6年10月～令和7年3月(予定)
【財源】 一般財源



継続	海岸堤防の整備推進	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		まちづくりと防災への安心	3,498,435	●

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
06-02-04	海岸堤防整備事業	防災・消防・安全安心	農林水産課	37-4913

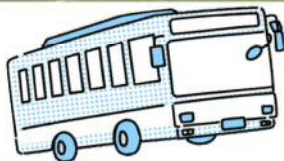
<目的>
静岡県第4次地震被害想定レベル2の津波に対応した静岡モデルによる海岸堤防の整備を実施する。

<p><内容></p> <p>【主な事業費】 海岸保全工区海岸防潮堤建設工事委託(県工事委託) 2,379,810千円 海岸防災林工区海岸防潮堤建設工事 942,700千円</p> <p>【進捗率(見込み)】 完成延長/進捗率 令和5年度末 5,121m/50.2% 令和6年度末 6,271m/61.5%</p> <p>【財源】 県 4,633千円 市債 2,081,700千円 基金 1,410,833千円 その他 1,000千円</p>	 <p>CSG製造工</p>  <p>海岸保全工区</p>
---	--

新規	ジュビロ磐田と連携した移住体験ツアー	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	854	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-01-06	移住・定住促進事業	産業・雇用・観光・移住定住	政策推進課	37-4805

<目的>
県外在住者を対象に、先輩移住者や本市在住のジュビロサポーターとの交流を内容とした移住体験ツアーを実施することで、本市がスポーツのまちであることを印象付けるとともに、参加者の移住を促進する。

<p><内容></p> <p>【概要】 スタジアム見学や試合観戦、先輩移住者との交流を盛り込んだ1泊2日の移住ツアーを実施。</p> <p>【主な事業費】 移住体験ツアー業務委託料 854千円</p> <p>【実施時期】 未定</p> <p>【財源】 一般財源 ※特別交付税措置あり</p>	  <p>©JUBILO IWATA</p>
---	--

継続	若者、子育て世帯の移住定住を支援	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		まちづくりと防災への安心	50,000	●
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
08-05-01	空き家対策事業	産業・雇用・観光・移住定住	建築住宅課	37-4851

<目的>

空き家を活用するとともに、若者・子育て世帯の移住定住先として本市が選ばれるために、既存住宅取得等事業費補助制度を継続する

<内容>

【概要】

既存住宅取得の際、住宅取得費及びリフォーム工事費等の一部を補助します。

〈補助対象及び交付上限金額〉

- ・若者世帯(世帯全員が39歳以下)・子育て世帯(中学生以下が同居)
 - 市外から転居: 上限1,500千円 市内転居: 上限1,000千円
 - (取得)建物購入費 1/10、リフォーム費 1/2
 - (建替)除却費1/2(相続に限る)
- ・上記以外の世帯
 - 市外から転居・市内転居: 上限500千円
 - (取得)リフォーム費 1/2

【主な事業費】 既存住宅取得等事業費補助金 50,000千円

【実施時期】 令和6年4月から(令和5年度から継続)

【財源】 一般財源



継続	「磐田ここからラボ」の推進	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		安心できる市役所づくり	23,106	
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-01-06	まちづくり人材育成研究事業 ほか	子育て・教育	政策推進課	37-4805

<目的>

「校舎のない学び舎」をコンセプトに、多くの市民が多様な学びを楽しみ、対話を通じて人と人との交流が生まれることで、市内外の多様な人材を引きつけ「人が集まる磐田市」の実現を図る。

<内容>

【概要】

全世代が「学びたいこと」を「学びたいとき」に「学びたい場所」で学ぶことができるように環境整備を行う。
また、各課において開催する講座や講演会、シンポジウム、ワークショップなども学びの機会と捉え「磐田ここからラボ」の取組として推進していく。

【主な事業費】

- ・高校生が企画する“学び”を応援(補助金:3,000千円/政策推進課)
- ・NPO、市民活動団体が開催する“学び”を応援(補助金:1,500千円/自治デザイン課)
- ・市内企業で働く人の“学び”を応援(補助金:2,000千円/産業政策課)
- ・小中学校におけるこどもの自由な学びを応援(予算配当:16,106千円/学校教育課)
- ・私立中学校におけるこどもの自由な学びを応援(補助金:500千円・政策推進課)

【財源】


一般財源



新規	新たな地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」の実施	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		子どもたちの安心	15,359	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
10-01-02	磐田部活推進事業	子育て・教育	放課後活動課	37-4828


<目的>
部活動の地域移行推進のため、既存の学校部活動を再編し、地域における活動団体等の参画を得て、新たな地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」を実施する。

<p><内容></p> <p>【概要】 ・学校部活動への部活動指導員、外部指導者の配置。 ・磐田スポーツ部活(陸上競技部、ラグビー部)の運営。 ・地域における活動団体の参画を得て、新たな地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」を開始。</p> <p>【開始時期】 令和6年4月～</p> <p>【財源】 ・県支出金 地域スポーツクラブ整備事業補助金 3,100千円 ・その他 地域クラブ参加費負担金 7,200千円</p>	
--	--

新規	スポーツ施設再編整備に係る調査検討	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	5,500	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-07-04	戦略的スポーツイベント活用事業	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	スポーツのまち推進課	37-4832

<目的>
持続可能なスポーツ施設の維持・整備を行うため、スポーツ施設再編整備に係る調査検討を行う。

<p><内容></p> <p>【概要】 市内にあるスポーツ施設の老朽化が進み、今後集中して必要となる施設の維持・改修などに係る多額の費用確保が課題となっている。 このため、市内施設を対象に今後の再編・整備についての調査検討を行う。</p> <p>【主な事業費】 スポーツ施設再編整備に係る調査検討業務委託 5,500千円</p> <p>【実施時期】 令和6年4月から</p> <p>【財源】 一般財源</p>	
---	--

継続	スポーツプラットフォームの研究	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	1,460	
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-07-04	戦略的スポーツイベント活用事業	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	スポーツのまち推進課	37-4832

<目的>

プロスポーツチームや大学などと連携しながら団体や企業、市民が幅広く参加するスポーツプラットフォームの構築に向けた研究を行う。

<内容>

【概要】

本市が持つ豊富なスポーツ資源を生かしたまちづくりを推進するため、その核となるプラットフォームを構築に向けた研究を行う。

プロスポーツチームや大学などと連携しながら枠組み作りを進め、本市の目指すスポーツのまちづくりの趣旨に賛同する団体や企業、市民が幅広く参加するものとなることを目標に研究していく。

【主な事業費】

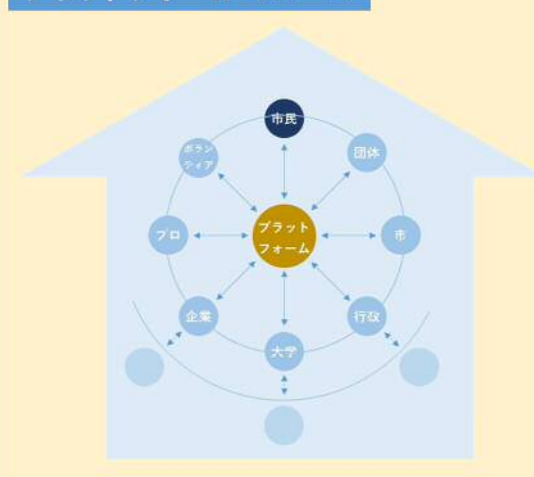
スポーツプラットフォーム研究会講師派遣 1,100千円

スポーツプラットフォーム研究会参加者謝礼 360千円

【実施時期】令和6年4月から

【財源】一般財源

プラットフォーム (イメージ)



新規	文化芸術活動スペースの整備	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	7,568	
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-07-05	文化芸術活動支援事業	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	文化振興課	37-8550

<目的>

市民の芸術活動を支援するため、既存施設を改修し、展示機能が整った施設を整備するための基本・実施設計を行う

<内容>

【概要】

ひと・ほんの庭 にこっと 2階を改修し、展示機能が整った施設を整備するための基本・実施設計を行う

【主な事業費】 展示施設整備基本・実施設計業務委託料 7,568千円

【実施時期】令和6年4月～10月

【財源】一般財源



継続	家康ゆかりの歴史的資源の活用	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	2,765	
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
10-05-02	文化財・民俗資料等保存活用啓発事業 指定文化財保存事業	自治・スポーツ・文化・ 歴史・共生	文化財課	32-9699

<目的>

市内の家康ゆかりの歴史的資源を周知・活用する事業。「磐田三城展」の開催や地元団体との共催による講座や講演会の開催、市指定史跡である社山城跡の地形測量調査などを行う。

<内容>

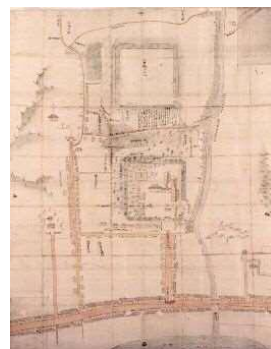
【概要】

- 「磐田三城展」の開催
社山城、見付城、中泉御殿からの出土資料を展示し、企画展関連講演会を開催(講師料400千円)。
- 地元団体との共催で講座や講演会の開催。
- 社山城跡地形測量業務(委託料 2,365千円)。

【財源】 一般財源



中泉御殿



見付城・見付端城
(大見寺所蔵絵図)



社山城

家康ゆかりの地

新規	「(仮称)磐田おんぱく」の実施	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	1,285	
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
07-01-03	磐田市観光協会支援事業	産業・雇用・観光・移 住定住	経済観光課	37-4819

<目的>

本市の文化や歴史、魅力ある産業等を活用した各種体験を提供することで、地域の魅力発信や交流人口の増による域内経済の活性化に繋げることを目的とする

<内容>

磐田市観光協会、磐田商工会議所、磐田市商工会と共創し、本市の自然、文化、歴史、魅力ある産業などを体験できる「(仮称)磐田おんぱく」を開催する。

【スケジュール(案)】

- 4~6月 事務局や関係団体と事業スキームの構築・調整
- 7~8月 参加事業者等募集・説明会開催
- 9月 イベント参加者募集
- 10~12月 おんぱく実施

【参加事業者】

市内開催であればどなたでも可

【内 容】

様々な体験プログラムを用意し、市内外から参加者を募り、本市の魅力発信に加え、経済の活性化に繋げる。


【財源】 一般財源 ※磐田市観光協会補助金として支出



新規	地域おこし協力隊を活用した動画コンテンツ等による魅力発信	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	8,854	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-01-02	シティプロモーション推進事業	産業・雇用・観光・移住定住	広報広聴・シティプロモーション課	37-2275

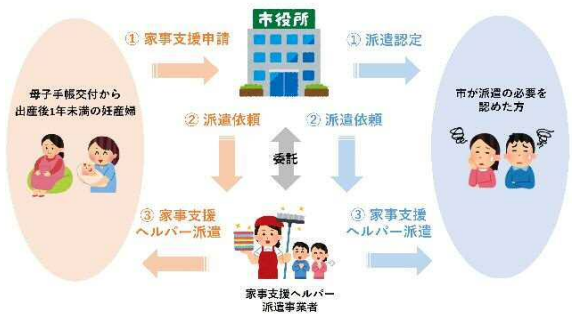
<目的>
 地域おこし協力隊制度を活用し、磐田市の魅力を移住者ならではの目線で発信し、磐田市に興味関心のある人を掘り起こす。

<p><内容></p> <p>【概要】 ・地域おこし協力隊制度を活用して磐田市内に常駐する地域ディレクターを採用し、動画コンテンツ、活字コンテンツ等の企画・制作・配信・分析をする。 ・SNSを通じたコミュニティを形成し、磐田市に興味関心のある人同士がつながることで、新たなコミュニケーション機会を創出する。</p> <p>【主な事業費】 動画コンテンツを活用した魅力発信及びコミュニティSNS構築・運用業務委託料 8,854千円</p> <p>【実施時期】 令和6年7月から</p> <p>【財源】 一般財源 ※特別交付税措置あり</p>	<p>【参考イメージ】</p> 
---	---

新規	子育て世帯等に対する家事支援事業の開始	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		子どもたちの安心	1,127	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
03-02-01	育児・家事サポート事業	子育て・教育	こども未来課	37-2012

<目的>
 家事・育児等に対し不安や負担を抱える子育て家庭等に対し、家事支援ヘルパーを派遣し、育児の不安や負担の軽減を図るとともに、養育環境を整える。

<p><内容></p> <p>【概要】 支援が必要な世帯に家事支援ヘルパーを派遣し、食事の準備や後片付け、衣類の洗濯、居室の掃除・整理整頓などを行う。また、家事支援に加えて軽微な育児支援(おむつ交換、ミルク授乳、抱っこ等)を行う。 (対象者) ・母子健康保健手帳交付から出産後1年未満の妊産婦で、家族等からの育児支援がない方 ・家事や育児に対して特に不安や負担を抱える子育て家庭やヤングケアラー等がある家庭で市が派遣の必要を認めた方</p> <p>【主な事業費】 業務委託料 1,127千円</p> <p>【実施時期】 令和6年4月から</p> <p>【財源】 国庫 1/3、県 1/3</p>	<p>運用のイメージ</p> 
---	---

拡充	子育て短期支援事業(ショートステイ)の拡充	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		子どもたちの安心	363	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
03-02-01	児童虐待防止事業	子育て・教育	こども未来課	37-2018

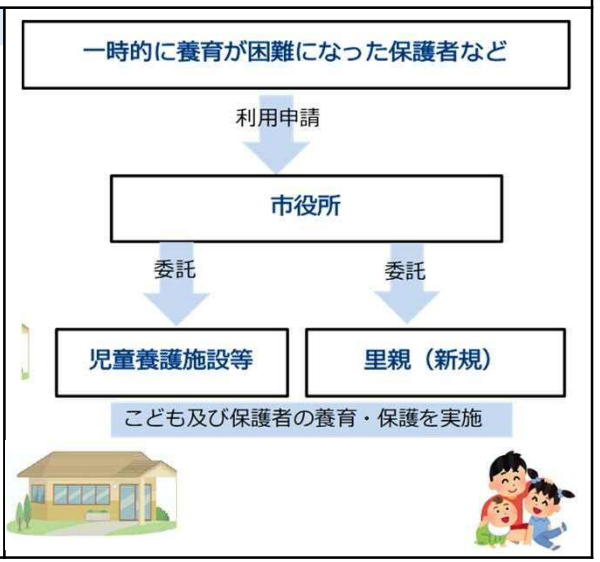
<目的>
 こども及びその家庭の生活の安定を図るため、保護者の疾病その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合のこども及び保護者を預かる支援先等を拡充する。

<内容>

【概要】
 ・こどもの預かり支援先として、新たに里親を追加
 ・原則7日以内としている利用期間を、個別の状況にあわせ「市長が必要と認める期間」に変更

【主な事業費】
 短期入所委託料 363千円

【財源】
 国庫1/3 県費1/3 ※基準額あり



拡充	病児保育の拡充	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		子どもたちの安心	49,974	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
03-02-04	民間認可保育園等運営費補助事業	子育て・教育	幼稚園保育園課	37-2754

<目的>
 病気にかかった子どもを預かる「病児保育」を拡充することで、保護者の就労を支援し、安心して子育てできる環境の整備を図る。

<内容>

【概要】
 現在、民間事業者により実施している病児保育について、高い利用ニーズへの対応のため、増設する施設の運営費分の補助の増額。
 施設数:1か所 ⇒ 2か所
 利用見込(年間延べ人数):1,500人 ⇒ 3,000人
 補助金額:27,931千円 ⇒ 49,974千円(22,043千円増額)

【実施時期】
 令和6年4月から

【病児保育とは】
 児童が病気の「回復期に至らない場合」において、看護師が常駐する施設の専用スペースで一時的に保育をすること。

【病児保育の現状】
 ○施設数 1か所
 ○利用実績 1,449人(令和5年4~12月の延べ人数)
 ※令和4年度=1,553人

【財源】 国1/3、県1/3



新規	第3の教育支援センターの設置	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		子どもたちの安心	9,854	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
10-01-02	いじめや不登校等に対応する教育相談体制推進事業	子育て・教育	学校教育課	37-4923

<目的>
 多様化・増加する不登校児童生徒に応じた「多様な学びの場」の選択肢を用意し、市全体における不登校児童生徒及びその保護者の支援体制強化を図る。

<内容>
【業務内容】
 不登校状況にある児童生徒が、安心して「居る・話す・学ぶ・活動する」ことのできる拠点としての居場所を提供するとともに、学校と家庭の橋渡しの役割(中間的存在)を担い、学校への復帰を含む将来的な社会的自立をめざした支援を行う。
【対象者】
 市内公立小中学校に在籍または磐田市内に居住する児童生徒
【開所予定時期】
 令和6年夏
【開所予定地】
 堀之内地内(旧竜洋第3ひまわり荘)
【財源】
 一般財源

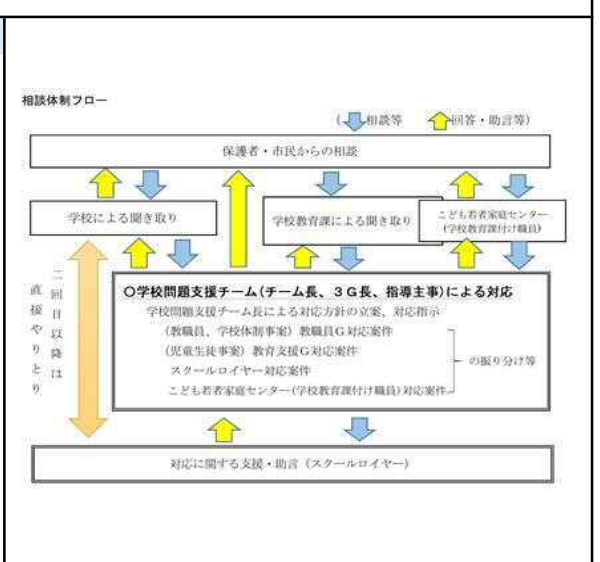


新規	学校の諸問題に対する支援体制の拡充	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		子どもたちの安心	858	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
10-01-02	学校教育事務	子育て・教育	学校教育課	37-2760

<目的>
 県弁護士会と協定を結び、学校の諸問題に対し専門的な立場から適時適切な助言を担当弁護士(スクールロイヤー)から受ける。

<内容>
【実施内容】
 コーディネーター、3グループ長、指導主事による「学校問題支援チーム」を新たに組織し、下記の諸問題に対応する。
 ・子供に関する問題(いじめや不登校等)への助言・対応
 ・保護者からの意見、要望等への対応
 ・教師の体罰や指導上の問題、学校内での事故等に関する相談への対応
 ・教職員(学校長)を対象とした法的研修会の開催
 ・こども若者家庭センター「相談ダイヤル」が受けた小中学校籍の相談への対応
 ※こども若者家庭センターには学校教育課付け職員も1名配置し、相談への対応を行う。
【事業費】
 ・学校からの相談・市教委からの相談 836,000円
 ・法的研修会 22,000円
【財源】
 一般財源



新規	探究的な学びデジタルコンテンツの導入	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		子どもたちの安心	9,840	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
10-02-02 10-03-02	小学校コンピュータ教育推進事業 中学校コンピュータ教育推進事業	子育て・教育	学校教育課	37-4921

<目的>
デジタルコンテンツ(3D空間化された市内の公共施設、歴史文化施設等)を、1人1台端末で自由に探索することを通して、児童生徒の課題発見・設定する力を育成する。

<内容>
【概要】
・本市の小学3年生から中学3年生の総合的な学習の時間を中心に活用できるよう、4つの教材テーマ(自然環境、歴史文化、地域産業、公共施設)に関する場所等を3D空間化する。
・自ら対象に関われるように3D空間内に「はてなタグ」(問い掛け)を設け、児童生徒の知的好奇心や探究心を引き出し高める。
【3D空間 12か所(予定)】
公共施設 4か所
歴史文化 2か所
自然環境 1か所
地域産業 5か所
【財源】
一般財源



継続	向陽学府小中一体校の整備推進	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		子どもたちの安心	980,695	●●●

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
10-01-02	向陽学府新たな学校づくり整備事業	子育て・教育	教育総務課	37-2115

<目的>
令和8年4月開校に向け、本体工事や既存校舎解体工事、大藤小学校プール改修工事を進める。

<内容>
【主な事業内容】
・向陽学府小中一体校建設工事 812,700千円 (債務負担行為)
・向陽中学校既存校舎解体工事 97,647千円 (債務負担行為)
・大藤小学校プール改修工事 20,000千円
・工事監理委託料 25,349千円 (債務負担行為)
・校章・校歌作成業務委託料 2,849千円
・向陽中学校仮設校舎リース料 19,262千円
【財源】
国庫 306,885千円
市債 616,300千円



新規	フレイルの改善を目指した取組	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		暮らしと健康の安心	6,552	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
介護会計	地域リハビリテーション活動支援事業	福祉・健康	高齢者支援課	37-4831

<目的>
フレイル(虚弱)になり始めた高齢者に対し、リハビリテーション専門職が改善に向けた助言・指導を行うことにより、状態の悪化を防ぎ自立した高齢者が増えることを目指す。

<内容>
【概要】
心身の状態が低下し始めた高齢者へ地域包括支援センター職員が訪問し、今後の支援計画を作成するタイミングに合わせてリハビリ専門職が同行して、自立した生活を取り戻すための助言やリハビリの取り組みを指導する。
【財源】
国・県支出金 ほか



拡充	救急情報シート利用促進	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		暮らしと健康の安心	511	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
介護会計	救急情報シートの普及啓発	福祉・健康	高齢者支援課	37-4831

<目的>
75歳以上の高齢者のみの世帯へ救急搬送時等に必要情報を記載するためのシート(救急情報シート)及び身近な相談窓口の案内を郵送することで、暮らしの安心につなげる

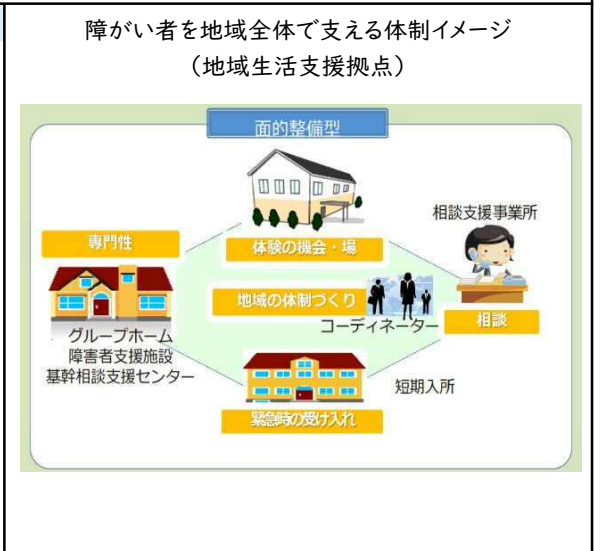
<内容>
【概要】
各地域の実情に応じて救急情報シートの普及啓発に取り組んでいただいているが、リスクが高くなる75歳以上のみの高齢者世帯に市が郵送することで、地域の活動を補完するとともに一層の普及に努める。さらに、困りごとなど不安を抱えている方たちが、早期に相談機関につながるよう相談窓口の案内も同封する。
【実施時期】
令和6年9月頃
【財源】
国・県支出金 ほか

新規	障がい者の緊急時支援の充実	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		暮らしと健康の安心	20	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
03-01-02	障害者地域生活支援事業	福祉・健康	福祉課	37-4919

<目的>
障がい者の親亡き後の緊急時の生活を見据えた相談や緊急受入れの体制整備のため、事前の施設等の体験機会を創出し、親亡き後も障がい者の地域生活や自立を支援していく。

<内容>
【概要】
障がい者の緊急受入れに対応するため、地域生活支援拠点がコーディネーターとなり、障がい者の生活などトータルの支援を行う。
また、施設等の体験利用を通じ、緊急時の受入れ体制の確保により将来に渡り、安心して地域で生活し続けられる体制の整備を進め、地域全体で支える仕組みづくりを構築する。
【実施時期】
令和6年度中の体制整備に向けて、市内の福祉事業所と協議をしていく。
【財源】
一般財源

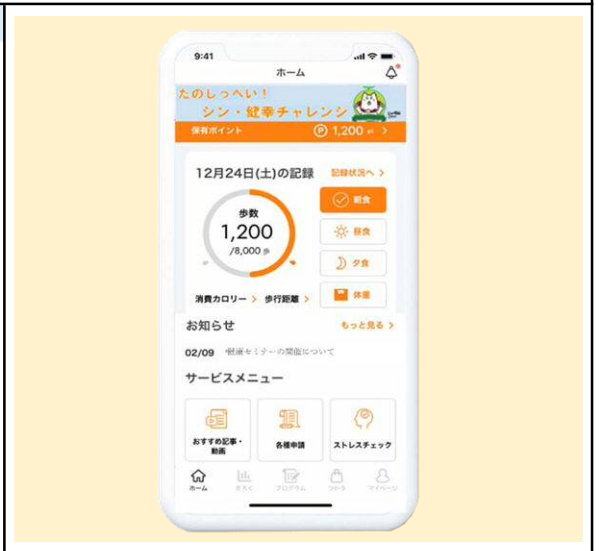


継続	ヘルスケアアプリ「たのしっぺい!シン・健康チャレンジ」	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		暮らしと健康の安心	4,255	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
04-01-03	健康づくり事業	福祉・健康	健康増進課	37-2013

<目的>
スマートフォンのアプリを活用した健康を環境から支える仕組みの構築により、生活習慣病の有病者と予備軍を減らし、将来的な健康寿命の延伸を目指す。

<内容>
【概要】
日ごろから、生活習慣を意識することは将来の病気の予防や健康な体を維持していく上で重要なことである。
スマートフォンのアプリを活用し、健康的な取り組みを実施することでポイントが得られ、貯めたポイントを地域での消費やサービスにつなげる仕組みを構築するための実証実験を行う。
【財源】
一般財源



新規	磐田市立総合病院に(仮称)内視鏡センターを新設	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		暮らしと健康の安心	910,000	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
病院会計	施設改良事業	福祉・健康	病院総務課	38-5000

<目的>
患者数の増加が見込まれる消化器疾患の受け入れ体制を拡充するため内視鏡センターを新設する。

<内容>
【概要】
増加傾向にある消化器疾患患者の受入対応ができるよう内視鏡センターを新設し、検査前処置室を含めた検査室、リカバリー室など設備の充実を図る。
構造 鉄骨造2階建て
延べ面積 約1,800㎡
建設位置 外来東館南側
主な施設 1階〔検査〕 内視鏡検査室・内視鏡検査室(治療室)・X-TV室(診察室)・内視鏡検査室(X線透視室)・問診室・前処置室・リカバリー室 ほか
2階〔外来〕 診察室(消化器内科・消化器外科)・処置室・採血室・相談室・受付・会議室 ほか
財 源 企業債



新規	磐田市立総合病院にソーラーカーポートを設置	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		暮らしと健康の安心	180,000	●●

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
病院会計	施設改良事業	福祉・健康	病院総務課	38-5000

<目的>
来院者用駐車場に屋根を設け利用される方の利便性を向上させるとともに、屋根を太陽光発電設備とし、利用電力量への補填をする。

<内容>
【概要】
来院者用駐車場に屋根を設け、雨天時等に来院される方の利便性を向上させるとともに、屋根に太陽光発電設備を設置する。
設置箇所は、緊急時の車両受け入れやヘリポートの利用に影響のない範囲の利用者駐車場約3,000㎡にソーラーカーポートを設置し、発電された電力は、病院の利用電力として使用し、停電時に系統電力の供給ができなくなった際は、自立運転に切り替えることで緊急時電源として使用する。(蓄電池は設置なし)
【財源】
国10/10



新規	路線バスキャッシュレス決済導入の補助	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		暮らしと健康の安心	4,000	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
2-7-3	民間バス事業者支援事業補助金	都市基盤・環境	自治デザイン課	37-4751

<目的>
バス利用の利便性の向上により、利用促進とあわせて公共交通の維持・確保を図る。

<内容>
【概要】
クレジットカードのタッチ決済を導入する市内バス路線の運行事業者に対して、バス車内のシステムや機器設置に係る費用の一部を補助する。
・総事業費 24,000千円 遠鉄バス(磐田営業所車庫) 24両
・内訳 事業者 8,000千円(1/3)
国 8,000千円(1/3)
県 4,000千円(1/6)
市 4,000千円(1/6)

【主な事業費】
磐田市生活バス路線キャッシュレス決済導入事業費補助金 4,000千円

【実施時期】 令和6年10月から導入開始(令和7年2月末完了)

【財源】 一般財源



継続	豊岡支所庁舎の整備	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		まちづくりと防災への安心	532,032	●●●

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-01-09	豊岡支所施設整備事業	行財政改革	豊岡支所市民生活課	0539-63-0020

<目的>
豊岡支所の防災性を高め、利用状況に見合ったコンパクトな庁舎を建設する。

<内容>
【概要】
建築場所 磐田市下野部地内(現支所庁舎南側)
敷地面積 1,060.98㎡
構造 鉄骨造2階建
建築面積 415.74㎡ 延床面積 726.91㎡

【主な事業費】
支所庁舎建設工事 439,000千円
建設工事監理委託料 8,000千円
新庁舎什器、備品等 23,335千円

【今後の予定】
令和7年2月完成(令和7年4月開所予定)


【財源】
市債



新規	神増地区における治山工事	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		まちづくりと防災への安心	22,000	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
06-02-03	治山事業	防災・消防・安全安心	農林水産課	37-4913

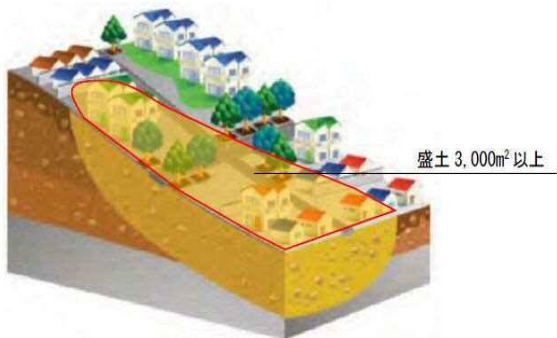
<目的>
令和4年台風第15号による土砂災害を受け、県の災害対策工事に併せて治山施設(流路)の整備を実施する。

<p><内容></p> <p>【概要】 水の流れを定めることにより、土砂の流出を防ぐ</p> <p>【主な事業費】 実施設計業務委託 7,000千円 治山(流路整備)工事 15,000千円</p> <p>【財源】 県 7,200千円 市債 14,800千円</p>	<p style="text-align: center;">神増地区災害対策工事の様子 (R5.12撮影)</p> 
---	---

継続	大規模盛土造成地の安全性把握調査の実施	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		まちづくりと防災への安心	24,971	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
08-01-02	宅地耐震化推進事業	防災・消防・安全安心	建築住宅課	37-4899


<目的>
大規模地震による大規模盛土造成地の滑動崩落等の宅地被害を防ぐため、地盤調査等の宅地の安全性の把握調査を実施する。

<p><内容></p> <p>【概要】 地盤調査等の宅地安全性の把握調査を実施する。</p> <p>【主な事業費】 大規模盛土造成地第二次スクリーニング委託料(3地区) 24,954千円</p> <p>【実施時期】 令和6年7月から令和7年3月(予定)</p> <p>【財源】 国庫支出金(1/3) 8,318千円 県支出金(1/3) 8,318千円</p>	 <p style="text-align: center;">谷埋め型大規模盛土造成地のイメージ</p>
---	---

拡充	災害用備蓄食料等の整備推進	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		まちづくりと防災への安心	18,111	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-01-08	防災資機材整備事業	防災・消防・安全安心	危機管理課	37-2116


<目的>
大規模災害を想定し、被災状況等により食料などの確保が困難な市民のために、備蓄の考え方を整理し、公的備蓄の整備を推進する。

<p><内容></p> <p>【概要】 備蓄食料等の整備に係る経費 その他食糧費 18,111千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファ化米 ・保存水 ・乾パン ・液体ミルク <p>【財源】 県1/3</p> <p>【備蓄の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想 定: 南海トラフ地震(L2) ・対象者: 避難者約39,000人(静岡県第4次被害想定) ・期 間: 発災後3日間 	
--	--

継続	中東遠消防指令センター高機能消防指令システムの更新	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		まちづくりと防災への安心	1,893,540	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
09-01-01	中東遠消防指令センター運営事業	防災・消防・安全安心	消防総務課 (指令センター)	55-0911

<目的>
消防指令システムの更新により最新の情報通信技術を活用することで、多種多様な災害に迅速かつ円滑に対応できるシステムを構築し、中東遠消防指令センターにおける通信指令業務の円滑な運用の実現と、住民が安心・安全に暮らせる生活環境の整備を目指す。

<p><内容></p> <p>【概要】 磐田市を含む6市町で構成する中東遠消防指令センターの高機能消防指令システムを更新し、緊急時等における詳細な情報共有により、これまで以上に迅速な対応・関係機関等との円滑な連携を図る。</p> <p>【運用時期】 令和7年4月1日から</p> <p>【主な事業費】 高機能消防指令システム全更新整備事業委託料 1,893,540千円 ※磐田市負担金 687,194千円</p> <p>【財源】 緊急防災・減災事業債 648,300千円 静岡県地震津波対策等減災交付金 10,000千円 その他(構成団体負担金) 1,206,345千円</p>	 <p>中東遠消防指令センター</p>
---	---

継続	消防庁舎の整備推進	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		まちづくりと防災への安心	85,709	●●●

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
09-01-03	消防庁舎建設事業	防災・消防・安全安心	消防総務課	59-1119

<目的>
自然災害をはじめ、あらゆる災害に対して高度な安全性を備え業務継続できる災害に強い庁舎の建設を目指し、消防力の更なる充実強化を図る。

<内容>
【主な事業内容】
・基本・実施設計業務委託(委託料:66,610千円 債務負担行為)
〈概要〉
基本設計:令和6年2月~令和6年12月(予定)
実施設計:令和7年1月~令和7年10月(予定)
※随時、消防署等整備検討部会を開催し、進めていく
農用地区域除外申請:令和6年11月~令和7年5月(予定)
・地質調査業務委託(委託料:13,309千円)
【整備期間】
・令和10年度まで
【財源】
・一般財源

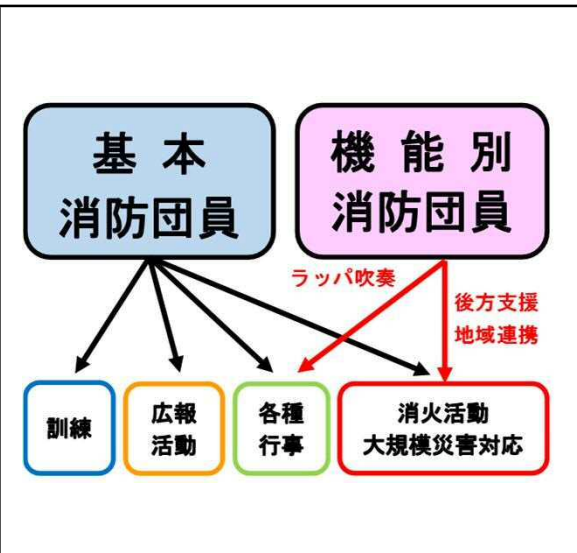


新規	機能別消防団員制度の導入	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		まちづくりと防災への安心	12,048	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
09-01-02	消防団活動推進事業	防災・消防・安全安心	警防課	59-1716

<目的>
消防団員が減少してもあらゆる災害に対応していくため、消防団員経験者を活用した機能別消防団員制度を導入する。


<内容>
【概要】
基本消防団員(従来の消防団員)が消防団活動全般を担うのに対し、機能別消防団員は特定の活動・役割を担う。機能別消防団員が後方支援活動等に携わることで基本消防団員の活動を補完する。
【活動内容】
災害時における後方支援活動(避難誘導・交通誘導・物資搬送等)
大規模災害時における地域と連携した活動
各種行事におけるラッパ吹奏活動
【主な事業費】
報酬(年額報酬・出勤報酬) 6,944千円
被服費等(ヘルメット等装備品) 5,104千円
【実施時期】
令和6年4月から
【財源】
県1/3 1,437千円



新規	省エネ家電買替促進キャンペーンの実施	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		まちづくりと防災への安心	100,000	●●

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
04-02-03	地球環境保全事業	都市基盤・環境	環境課	37-4874



<目的>
2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、家庭から排出する二酸化炭素を削減するとともに環境負荷の低減について市民に啓発する。

<p><内容></p> <p>【概要】 消費エネルギーの削減に貢献する家電に買い替える市民に対し、その購入費用の一部を補助する。</p> <p>1 対象者 市内居住者で市内に住居登録されている方(1世帯1回限り)</p> <p>2 対象家電と補助額</p> <table border="0"> <tr> <td>エアコン</td> <td>4万円</td> </tr> <tr> <td>冷蔵庫</td> <td>2万円</td> </tr> <tr> <td>LED照明器具</td> <td>1万円または2万円</td> </tr> </table> <p>【実施時期】 令和6年6月からを予定</p> <p>【財源】 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 100,000千円</p>	エアコン	4万円	冷蔵庫	2万円	LED照明器具	1万円または2万円	
エアコン	4万円						
冷蔵庫	2万円						
LED照明器具	1万円または2万円						

継続	企業立地に対する支援	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	679,820	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
07-01-01	企業立地推進事業	産業・雇用・観光・移住定住	産業政策課	37-4904


<目的>
企業ニーズを的確に把握し、設備投資に要する経費への支援、事業所を設置する際に要する初期費用の支援など、企業が操業しやすい環境を整備することで、多様な企業の誘致を支援します。

<p><内容></p> <p>【概要】</p> <p>●産業立地促進事業費補助金 内 容: 新增設した工場等について、用地取得費と新規雇用に対して補助 補助率: 土地購入費20%、雇用増1人あたり50万円(上限2億円) 財 源: 静岡県地域産業立地事業費補助金(市補助額の1/2)</p> <p>●産業立地奨励補助金 内 容: 新增設した工場等の土地・家屋・償却資産の固定資産税等の相当額 補助率: 10/10(上限なし) 財 源: なし(一般財源)</p> <p>●次世代産業立地促進事業費補助金 内 容: 次世代産業の工場等に係る用地取得費、造成費、建物・構築物・償却 資産の取得・設置に要した費用に対して補助 補助率: 経費の1/2(上限3億円) 財 源: 一般財源</p>	<p>新磐田スマートIC周辺(新平山工業団地・下野部工業団地)</p>  <p>次世代産業(スマート農業、陸上養殖、次世代モビリティ等)</p> 
---	---

継続	沿岸部の産業用地開発可能性基本調査	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	10,000	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
07-01-01	未来投資推進事業	産業・雇用・観光・移住定住	産業政策課	37-4904



<目的>
海岸堤防完成後を見据え、食などの次世代産業等の産業用地を確保し、新産業や関連産業等の集積、働く場の創出を図るための調査を行う。

<p><内容></p> <p>【概要】</p> <p>●産業用地開発可能性基本調査業務委託 内容:公募型プロポーザル方式により沿岸部の開発可能性基本調査の実施 (法規制状況、現況調査、基本計画図作成(区画や道路の配置等)、概算事業費、PRツール作成等)</p> <p>財源:静岡県工業用地等開発可能性調査費補助金 (補助率1/2、上限2,500千円)</p>	 <p>遠州灘海岸</p>
---	---

新規	フィリピン(ダグバン市)・タイとの交流事業	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	5,858	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
07-01-01	マーケティング支援事業	産業・雇用・観光・移住定住	産業政策課	37-4904

<目的>
 ・姉妹都市提携50周年を機に、今後の産業交流等に向けた意見交換を行う。【ダグバン】
 ・縮小する国内市場をふまえ、市内産業の活性化を図るため、現地法人や政府との産業交流を行う。【タイ】

<p><内容></p> <p>【ダグバン】 ・市役所および現地の企業、大学、産業支援機関等を訪問し、今後の交流に向けた意見交換を実施。</p> <p>【タイ】 ・現地商業者との商談会による本市産品のPR ・本市や市内事業者とタイ政府等による産業振興にかかる意見交換会 ・本市へのインバウンド誘客に向けた市内観光資源のPR (現地展示会への参加)</p> <p>【財源】 ・一般財源</p>	 
---	--

継続	遠江国分寺跡の整備	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		未来と仕事の安心	312,302	
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
10-05-02	遠江国分寺跡整備事業	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	文化財課	32-9699

<目的>
特別史跡遠江国分寺跡の再整備として、平成28年度に策定した整備基本計画に基づき行っている整備工事の4年目。塔跡基壇の復元を行う。

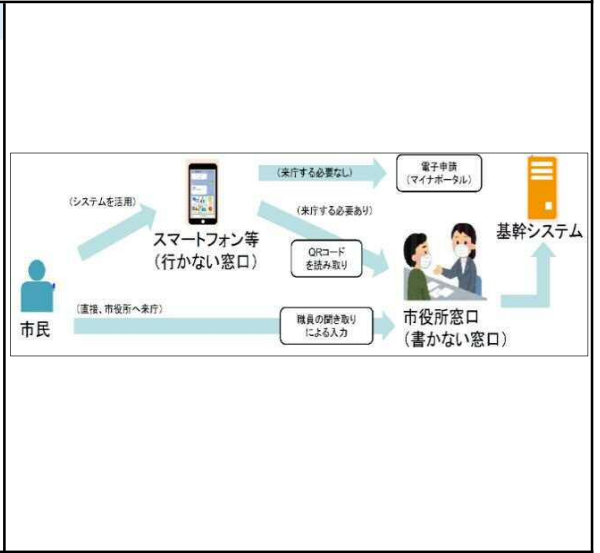
<内容>
【概要】
整備工事の4年目。塔跡基壇等の整備や史跡指定地の取得を行う。
整備工事請負費 237,963千円
指定地取得費 9,320千円
物件等補償費 50,200千円
【財源】
整備工事費 国1/2 県1/6(上限1,666千円)
指定地取得費・物件等補償費 国1/5 県1/15
市債



継続	「書かない・行かない」窓口の本格運用	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		安心できる市役所づくり	14,560	●●●
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
2款3項1目	「書かない・行かない」窓口整備事業	行財政改革	市民課	37-4816

<目的>
デジタル庁が推進する「窓口DXSaaS」を導入し、「書かない窓口」による来庁者の手書きによる手間の削減。また、メッセージ交換アプリ「LINE」の機能を活用した事前申請や電子申請の活用を促進することで市民の利便性の向上を図る。

<内容>
【概要】
デジタル庁が推進する「窓口DXSaaS」を導入し、来庁者が申請書を記入することなく、聞き取りにより申請書を作成する「書かない窓口システム」の運用を開始。令和6年3月1日より、市民課・市税課の証明発行業務を稼働開始し、令和6年6月より市民課住民異動業務の稼働を予定している。
また、メッセージ交換アプリ「LINE」の機能を活用し、必要事項を入力して作成されるQRコードを窓口で提示することで手続きを簡略化する事前申請や証明発行の電子申請の活用を促進する「行かない窓口」のシステムも令和6年3月1日より導入し市民の利便性の向上を図っていく。
【実施時期】
令和6年3月～ 証明発行業務・行かない窓口
令和6年6月～ 住民異動業務
【財源】
一般財源



新規	生成AIツールの導入	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		安心できる市役所づくり	4,290	

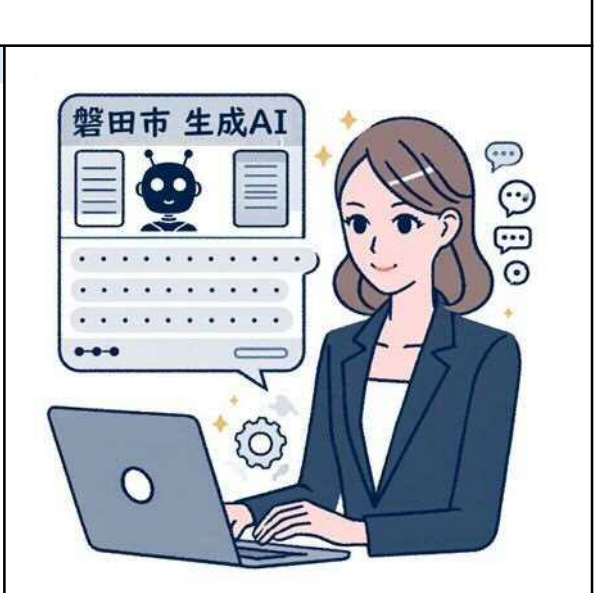
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-01-10	行政情報化推進事業	行財政改革	DX推進課	37-4818

<目的>
業務効率化を図るため、安全性や利便性を考慮した生成AIツールを導入する。

<内容>
【概要】
文章作成の支援や長文の要約、標語・スローガン等のアイデア出しなど、様々な業務に活用できる生成AIツールを導入し、職員の業務効率化を図る。

【実施時期】
令和6年5月から

【財源】
一般財源



継続	基幹業務システムの標準化	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		安心できる市役所づくり	257,123	

款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-01-10	電子計算機運営事業	行財政改革	DX推進課	37-4818

<目的>
住民記録や税、福祉などの20業務を標準準拠システムに移行することにより、事務の効率化を目指す。

<内容>
【概要】
「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、令和7年度末までにガバメントクラウド上へ新システムを構築する。令和6年度は、移行データの整理、移行テストなどを行う。

【財源】
デジタル基盤改革支援補助金(10分の10 ※上限あり) 141,007千円



継続	デジタルデバインド対策の推進	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		安心できる市役所づくり	6,963	
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-01-10	地域情報化推進事業	行財政改革	DX推進課	37-4818

<目的>

「誰一人取り残さない全ての人に優しいデジタル化」を実現するため、一人ひとりのニーズに合ったデジタルデバインド対策を推進する。

<内容>

【概要】

スマートフォン教室の開催や、地域で身近にスマートフォンの操作を相談できる人材の育成を行う。

- ・交流センターなど公共施設を活用したスマートフォン教室
- ・スマホサポーター養成講座

【実施時期】

令和6年9月以降

【財源】

一般財源



拡充	職員育成施策の更なる推進	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		安心できる市役所づくり	13,910	
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-01-07	職員能力向上研修事務	行財政改革	職員課	37-4807

<目的>

人材マネジメント推進プロジェクト(人材育成について研究提案することを目的に市内公募した職員で組織したプロジェクト)の意見を反映し、職員育成への投資強化を図る。

<内容>

【概要】

職員一人ひとりが成長を実感しながら働ける環境を構築するため、より多くの職員が多様な学びの機会を得られるよう研修等の充実を図る。

- ・多数のコンテンツを受講可能なeラーニングのID数を倍増(100IDから200IDへ)

- ・職務に関連する資格取得を支援するための自分磨き支援制度の拡充
- ・職員の基礎能力を強化するための研修の充実(法制執務、会計事務など)

【財源】

一般財源



拡充	市公式ホームページのリニューアル	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		安心できる市役所づくり	5,511	
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-01-02	市公式ホームページリニューアル事業	行財政改革	広報広聴・シティプロモーション課	37-4827

<目的>

令和7年度の合併20周年において、市のインターネット上での正面玄関とも言える市公式ホームページのデザインをリニューアルする

<内容>

【概要】

令和7年4月のリニューアルに向け、他自治体ホームページを参考にしながら、より見やすく、検索しやすい市ホームページデザインにするため、各課及び市ホームページ業者との調整を進める。

【主な事業費】

磐田市ホームページリニューアル作業手数料 5,511千円

【実施時期】

新たな市ホームページの公開は令和7年4月(予定)

【財源】

一般財源



拡充	ファシリテーターの養成・活動支援	5つの柱	予算額(千円)	環境対効果
		安心できる市役所づくり	323	
款項目・会計	事務事業名称	総合計画分野	所管課	電話番号
02-07-02	市民活動推進事業	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	自治デザイン課	37-4811

<目的>

ファシリテーターの養成に加え、ファシリテーターの活動支援を実施する。

<内容>

【概要】

ファシリテーターの養成や、まちづくりワークショップを行うことで、市民との対話によるまちづくりを推進する。

- ・ファシリテーター養成講座(フォローアップ研修、入門講座)
- ・まちづくりワークショップ(まちづくり・地域づくりに関する意見交換会 年3回)

【主な事業費】

市民活動推進事業業務委託料 11,911千円のうち、323千円

【実施時期】 令和6年4月から

【財源】 一般財源

